

# 新クリーンセンター

---

「プラスの機能による付加価値」とは

2010/08/23 塩澤誠一郎(緑町三丁目)

地域社会を持続させていく

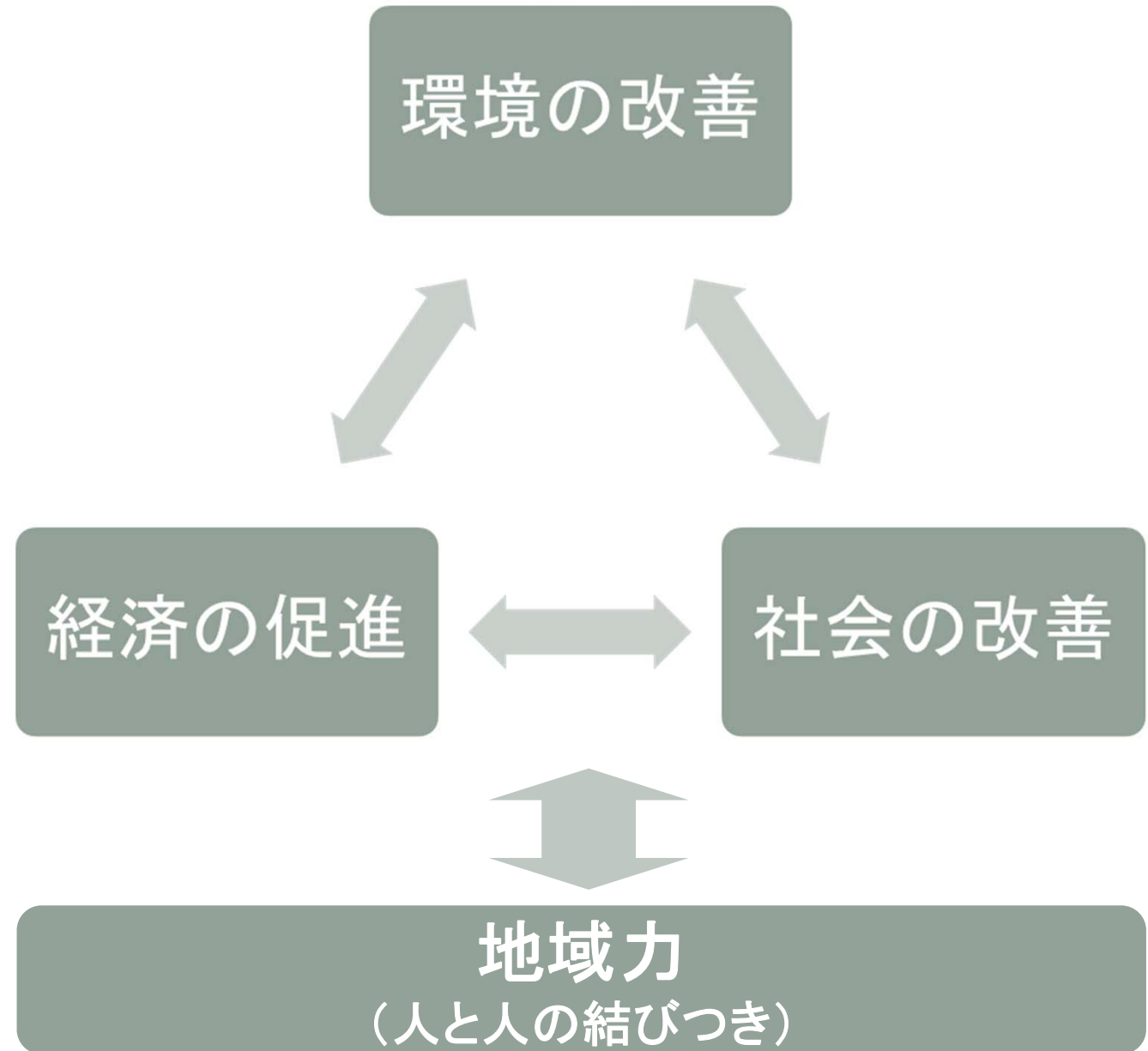
---

# 地域社会を持 続させていくた めの基本要素

今後のまちづくりの考え方  
として

施設・周辺整備の考え方  
として

施設に設ける機能のあり  
方として



# プラスの機能による付加価値とは

- 環境の改善、循環型社会の構築につながる
- 地域社会が直面している課題に応える
- 雇用を創出し、地域を活性化させる

# パブリックコメント

- 環境をテーマにした社会的起業、若者の就業支援
- 立地特性を生かした、障害者(児)等の雇用の場の創出

# 事例

---

空間・運営

# IID

## 世田谷ものづくり学校

世田谷区旧池尻中学校の  
廃校を活用して、株式会  
社が運営

教室など学校の空間を、  
クリエイターに貸し出し、  
作業場として活用

創業準備中や創業間もな  
いクリエイターへの創業支  
援機能を持つ

## 「学び・雇用・産業」



世田谷ものづくり学校エントランス 筆者撮影

【参考】世田谷ものづくり学校ウェブサイト <http://www.r-school.net/index.html>

# 事例

---

再生ものづくり



## 陶磁器

## ガラス

## 布

## プラスチック

## 金継ぎ

【参考】金継ぎnico エコジン2010年3月号<http://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/backnumber.html>  
金継ぎnico ウェブサイト <http://royu.net/nico/>

## 再生ガラス製品

【参考】Gracittaグラチッタ ウェブサイト <http://www.glacitta.com/index.html>

## 裂織

【参考】「だいなみつく裂織 平澤朋子」ウェブサイト <http://web.mac.com/sakiori/>

## プラスチック袋再利用バック

【参考】キャロル・スミス著「ゴミがおしゃれに変身」Outwold2.0  
ボンバスティック・プラスチック(Bombastic PlastixTM )  
<http://ourworld.unu.edu/jp/fashion-from-trash/#authordata>

ここに取り上げた4つのものづくりの事例は、一度壊れたり、そのままでは使用されなかつたり、廃棄されたりしたものを、新たな価値のあるモノに作り替える創造的な仕事の例として取り上げました。

従来、ゴミ焼却施設に併設するリサイクル関連施設としては、古着やいらなくなった家具などをきれいにして、それをほしい人に無料もしくは安価に引き取ってもらうという機能を付加した施設が主流です。

そうした視点は、環境の改善、循環型社会の構築という面では一つの役割を果たしているのかもしれませんが、住宅地の真ん中に建設する武蔵野市のクリーンセンターでは、そうした環境面だけでなく、地域社会の課題に応えたり、経済的に地域を活性化したりする側面を含めて考えなければ、リサイクル関連施設を設けたとしてもやはり単なるごみ焼却施設でしかない、周辺の地域住民にとっては迷惑施設でしかないということになります。

クリーンセンターに持ち込まれる壊れ物、廃棄品、不要品を単にもったいないと思う人に引き取ってもらったとしても地域は活性化しません。引き取られなくて残された廃棄品、不要品はやはりごみでしかありません。

ではどうやって経済的に地域を活性化させるかということを考えたときに、壊れ物、廃棄品、不要品を新たな価値を持つモノに作り替えて、それをステキだと感じ、ほしいと思う人を買ってもらい、得たお金で、ご飯を食べ、残ったお金で、新たなものづくりに投資するという経済的循環を成り立たせることが必要だと考えます。

それができるのはクリエイターやアーティストといった創造的なセンス、技能を持つ人だと思います。

そうした方々の力を借りて、壊れ物、廃棄品、不要品を新たなモノに作り替える。そこに若い人や障害者などの雇用を生み出せば、地域の課題に応え、地域を活性化させることにつながり、周辺住民にとっても、もはや迷惑施設ではなくなると思うのです。

塩澤